

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者: 大崎

会議名: 平成 30 年度 第2回小津学区まるごと活性化プランCプロジェクト会議

日時: 平成 30 年5月 31 日(木)19 時 30 分から

場所: 小津会館1階 会議室

出席者: 学区長、三品部会長、仲村副部会長、推進員、川那辺館長、大崎主事

議題

1. 役員の所属分科会について
2. ハード事業の取り組みについて

会議要旨

内容

1. 協議事項

(1) 役員の所属分科会について

- ①季節を楽しむ分科会においては、今年度が5か年計画の最終年であり、昨年度「小津のたからもの手帳」という一定の成果があがっている中、残り10か月で全く新しい事業に取り組むというのは現実的に厳しいという意見が出された。

※屋形船を活用したイベントや、手帳の活用方法を今後考えようという話が出た。

- ②宝探し・歴史分科会においては、準備から開催まで2か月近くかかることが報告され、今からの準備をはじめると真夏の開催になってしまうため、秋口(10月頃)と春先(3月頃)に行うことが提案された。また「小津のたからもの手帳」を活用してスタンプラリーを行うことも提案された。

- ③写真・フォトコンテスト分科会においては、例年ほぼ同じメンバーの応募しかなく、事務局から頼んで出してもらっているような状況が報告されたが、それでも新規の応募もあった中で、今年度に関しても、ふれあい広場においてコンテストを開催することに決まる。

※準備がそれほどめんどうでないことも開催する方向の意見として出ていた。

(2) ハード事業(小津ウォーキングマップ看板/防災ベンチ等の設置)の取り組みについて

○事務局よりハード事業の取り組みとして想定している3つ(ウォーキングマップの看板、防災ベンチ、それらの設置場所のインターロッキングによる整地)の説明を見積もりをもとに行い、方向性として一定の理解を得た。その上で予算額(218万)、8月の審査会にかける必要があること、またそれに向けて設置場所・個数の選定が今後必要であることを説明した。

※各自治会館に必要などうか希望を聞くという案がでたが、ややこしくなるので部会において決定し、自治会長会に最終の報告をするという形をとることとなった。

2. 依頼事項

○第4回小津学区魚つかみ大会(Bプロジェクト)におけるお手伝いを依頼する

- ・開催日時 平成30年7月29日(日) 午前10時から正午まで
- ・開催場所 新守山川犬倉橋下流

【まとめ】

- ・全く新しい事業を始めることはせず、これまで通りの事業や、その成果を生かした事業をすすめていく。
- ・分科会ごとにメンバーを分けることはせず、C部会全体としてそれぞれの事業をすすめていく。
- ・たちまちは8月の審査会に向けてハード事業の詳細をつめ、その後秋口のウォーキングの計画をすすめる。フォトコンテストはふれあい広場にあわせて募集、選考を行う。

決定事項

- ・分科会に分かれることはせず、部会全体として各事業をすすめていく。
- ・新しい事業は計画せず、これまでの事業の継続とそれを生かしたハード事業（看板やベンチの設置）をすすめる。

次回以降について

- ・ハード事業（看板、ベンチ）の詳細をつめていく。